



## 05

### 奨励賞

# Gビル 自由が丘 01 B館

#### 受賞者

設計者 株式会社フジタ

施工者

株式会社クライン・ダイサム

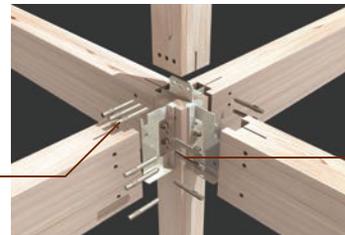
本計画は、商業空間と住環境が絡み合った自由が丘の街並みにふさわしい、人々を優しく受け入れるような居心地の良さを持った、「家」型のアイコン的な表情を持つ商業施設空間を作り出そうとする建築計画である。

地上3階、地下2階建て、近隣商業地域、準防火指定地域に“木質”の建築物ではなく“木造”を建築するに当たって選び出された応えは、1時間耐火の耐火木造工法の採用であった。

外壁はガルバリウム鋼板が屋根から側壁を覆い都会的なシャープな印象で外部空間を構成し、ガラスのカーテンウォールを透かし見る外部の袖壁から内壁への連続した杉板の壁、仕上材でもある木造の構造体は木の持つ優しさを感じられる内装空間となっている。

本計画は、本件にかかわる人々が統一された感性のもとに、建築物の柱、梁の躯体から内外装、家具などの什器備品まで「家」というコンセプトと合わせて「木」をつかうという一貫したテーマが表現された建物となった。

#### 接合部納り



ドリフトピン

接合金物

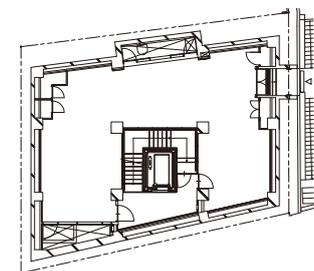
#### 1時間耐火構造



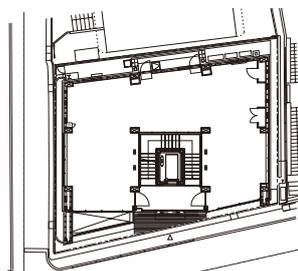
荷重支持部材：  
木材

燃え止まり層：  
石膏ボード

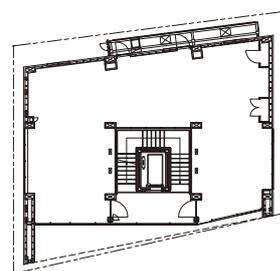
表面：木材



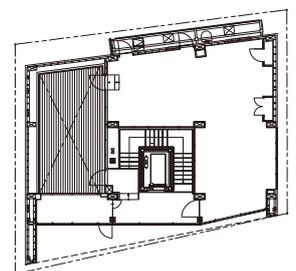
B1階平面図 S1:300



1階平面図 S1:300



2階平面図 S1:300



3階平面図 S1:300



北側から見た建物



南側から見た建物



木造フレームが印象的な店内



開放的な屋上テラス



シンプルで温かみのある什器



店内の厨房



1階EVホール



3階店内の斜め天井

### 受賞概要・講評

東京都目黒区自由が丘に所在する、「家」型のアイコニックな表情を持つ商業施設空間。商業空間と住環境が共存する自由が丘の街並みに相応しい居心地の良さを持った建物を作るため、1時間耐火の耐火木造工法を採用し地上部分を木造とした。

本作品については、耐火工法を施した構造材の太さをあえて建物の特徴にしている点、また都市に木の軒先空間を与え、外からも木の良さが伝わる、街並みと調和する設計となっている点等が評価された。



## 06

### 奨励賞 神宮前3丁目プロジェクト (allée de JINGUMAE)

受賞者 株式会社アトリエ秀  
 設計者 株式会社アトリエ秀  
 施工者 株式会社 One's Life ホーム

青山通り・南青山3丁目の交差点からキラー通りを200m、路地に入って直にこの建物は佇む。周辺の木造と言えばビルの谷間に残る古い住宅程度、木造化が進まない中心市街地に於ける収益目的のテナントビルである。

本計画は建物本来の価値と魅力、そして時代の流れが速い商業地でのサスティナビリティを探索し「長寿命」を命題に掲げた。その為には時代の変化（時代やテナントの需要、所有者 or 使用者や用途の変更）への呼応＝可変性が必要条件、これを価値と踏まえ新たな魅力ある都市建築を目指した。

狭小敷地に対して重量鉄骨のフレームにより無理なく合理的に立体空間を切り抜き、可変領域を広げるべく、主要構造部の一部である床スラブ（屋根）、外壁の各構面を増改築の容易な木材（厚板集成材/床スラブ：CLT、外壁：WOOD.ALC）で構成した。また、木材の魅力を発揮すべく燃え代設計と床スラブを工夫、準耐火構造の性能を満たしながらも、屋内の壁・天井の全面露出を実現させた。これは自由な内装工事に対する下地工事の削減にも一役買うばかりか、スケルトン状態で既に十分にスタイリッシュで温かみある空間を提供している。これは室内が耐火被覆で覆われ易い木造準耐火をしのぐ木質感である。

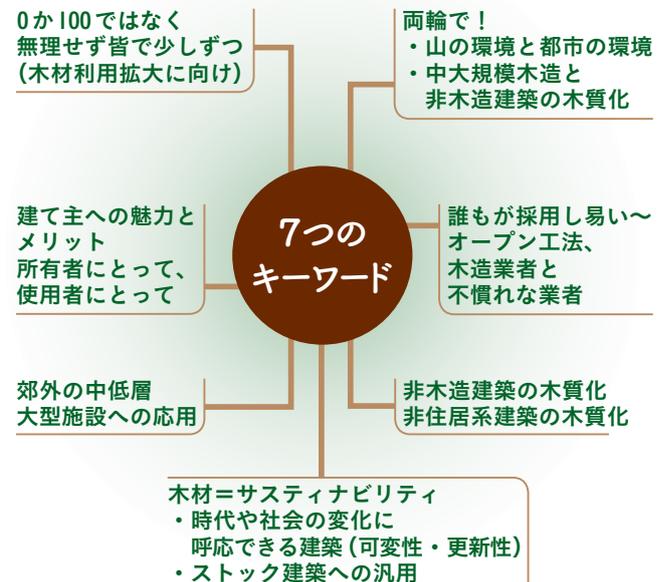
一方、木材は都心でも可能な地産地消（多摩産材CLT、福島県産材WOOD.ALC）に拘り、工場製作＆加工済の集成材パネルを採用、明解な構成と既に確立されている施工体系（ALC工事）での施工を可能とする事で、設計者及び施工者に高い木造のスキルを要せず、広く波及することを期するものである。

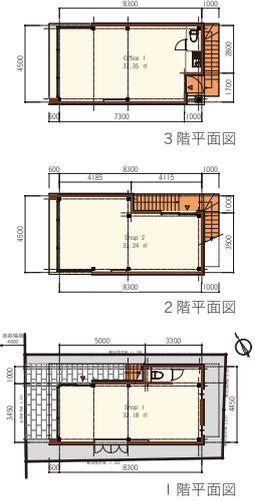
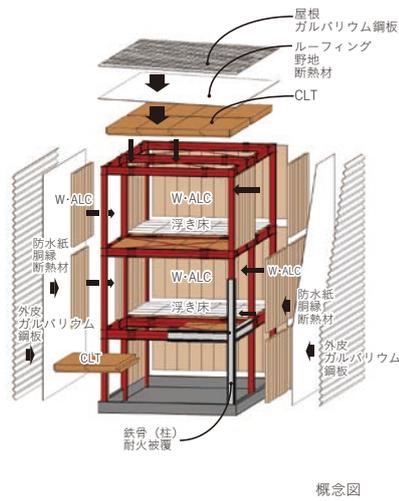
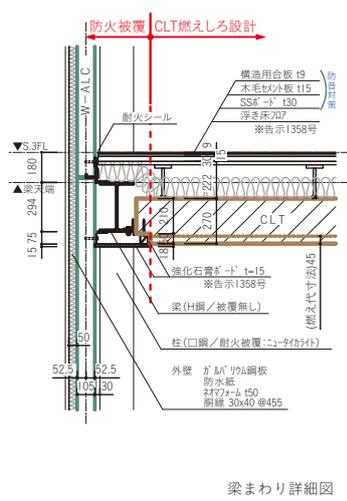
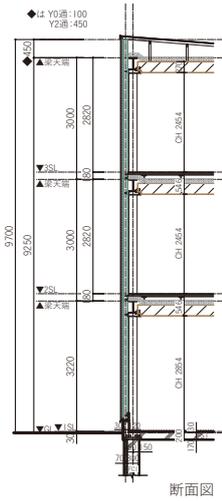


CLT  
CLT (t270)：床スラブに使用



WOOD.ALC  
WOOD.ALC (t105)：外壁に使用





受賞概要・講評

東京都渋谷区神宮前に所在するテナントビル。都心の限られた敷地の中で有効に立体空間を切り抜くため、メインフレームは鉄骨、また主要構造部はサステナブルな建物を目指し厚板集成材(多摩産材CLT、福島県産材WOOD.ALC)を採用している。

本作品については、既に体系化されているALC工事での施工を可能とし模倣しやすくすることで、木材需要の拡大に寄与している点、また外観がコの字型にデザインされていることで表面の表情に変化が付き、印象深い建物になっている点等が評価された。